

会 議 録		令和 3 年12月 2 日作成	令和 7 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府向日町警察署協議会（令和 3 年度第 2 回）		
開催日	令和 3 年11月30日（火曜日）		
時 間	午後 3 時30分から午後 5 時30分までの間（ 120分）		
場 所	京都府向日町警察署 講堂		
出席者	多田会長、山下副会長、丸山副会長、梶委員、吉田委員、六人部委員 柿原委員、高城委員、伊関委員、田中委員、榎本委員、齊藤委員、岡委員 計13人		
	署長、副署長、生活安全課長、刑事課長、広聴係長 計 5 人		
諮 問 事 項	特殊詐欺の最近の手口とその対策について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 会長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 協議</p> <p>諮問事項説明</p> <p>特殊詐欺の最近の手口とその対策について～生活安全課長、刑事課長</p> <p>【委員】私は民生委員をしており、毎月、老人福祉員と協力して特殊詐欺に関するパンフレットを地域包括支援センターに配布している。このパンフレットでは、特殊詐欺の手口のほか、例えば、「給湯器が古くなっていませんか。点検に寄せていただきます。」等と電話で訪問することを申し述べ、これを許可すると玄関の鍵がどうか次々と話を広げていく。その結果、膨大な費用を請求された事例などが紹介されていた。その他にも工事の水増し請求や依頼もしていない工事費用を請求されるといった事例もあった。</p> <p>特殊詐欺の手口には、色々なパターンがあり、犯人を逮捕したり、被害に遭わないための対策は大変難しい問題であると感じた。</p> <p>【委員】私は、乙訓消防に勤務しているが、消火器の薬剤の交換費用として高額な金額を請求されたとの話を聞いたことがある。私たちも消火器</p>		

会 議
内 容

の中を開けて薬剤を検査することはできずに、実際に薬剤を交換したかまでは分からないのが現実である。やはり、何時も交換を依頼している業者に確認や点検をお願いしていただきとしか言えない。

【委員】向日町警察署管内での予兆電話の着信状況が飛び抜けて多いが、何か理由はあるか。

【警察】予兆電話があれば、その都度、警察署へ連絡していただくようお願いしている。警察署として、例えば、特殊詐欺の予兆電話を把握すれば、連続発生を考慮し被害に遭わないようパトカー等で、「この付近で特殊詐欺の予兆電話が入っています。皆さん注意してください。」等と警戒を促す広報活動を行っている。こういった広報活動を行った後で、「実はうちにも電話がかかってきました。」等と情報が寄せられることも多く、その結果として予兆電話の認知件数が増えた一つの理由と考える。

【委員】自宅の電話機は、防犯機能付き電話機であるが、一日に1件は非通知での電話が入る。私自身は、非通知の電話には出ないのが良いと思っているが、非通知の電話に出られる方が多いと感じた。

【委員】電話機の表示が「非通知」であれば出ない方がよいとの話もあったが、私の家はお寺であり、毎日多くの檀家等から電話が入る。非通知であろうが出ない訳にはいかない。そういった意味でも各家庭の状況等も異なり、難しい問題であると思う。

【委員】私を知っているパターンでは、今までは郵送されてきた文書が最近ではインターネットで送られてくるが多くなった。これを逆手に取るかのように正規の文書なのか全く見分けがつかない巧妙な文書が送信される。

【警察】向日町警察署、京都府警、警察庁など、「今、こういった手口の事案や、被害が発生している。」等と全国で情報を共有し、対応している。他方、金融機関からも特別な事があれば情報が入ってくる。必要に応じて府民の皆さんにも周知している。

【委員】説明では、「『受け子』や『出し子』は捕まるが、首魁までは辿り着けない。」との話であるが、首魁が逮捕されたケースはないのか。

【警察】詐欺という犯罪は知能犯係が担当をしていたが、今年の春から、特殊詐欺事案については、暴力団等を担当する組織犯罪対策係が対応することになった。先ほど、検挙人員数は増えているが発生件数は変わらないと説明させていただいたが、言い換えれば一つの事件で多くの被疑者を逮捕しているということである。暴力団の組織、暴力団と暴力団に繋がる不良者などに関する情報を集約する係が特殊詐欺を担当することで共犯関係などが明確になると思うが、実際に犯罪に関わっ

会 議
内 容

ているとの実証までには至っていない。

【委員】 被害者となる割合が、65歳以上の高齢者が多く、うち、女性が13人であったとの説明であったが、高齢者の独居、非独居の割合はどうか。

【警察】 独居、非独居別の資料が手元になく後ほど回答する。警察としては、独居高齢者と高齢者の2人住まいの家庭を重点的に訪問や注意喚起をしている。

【委員】 民生委員の会議で超高齢社会を迎えることによる『2025年問題』の話があった。民生委員、老人福祉員一人当たり高齢者30人から50人を担当するとのことである。高齢者の被害が多いという特殊詐欺に対してどのように対応すべきか。

【委員】 長岡京市では、高齢者比が人口の25%を超えている。中には独居の方や、水害、土砂災害の想定区域に住んでおられる方がいる。また、災害時に自ら避難することが困難な方などは、災害時要配慮者名簿を作成し、お互いが助け合うといった取組を行っている。各自治会、自主防災会等様々な団体も高齢化しており活動が厳しいのが現実ではあるが、地域で顔の見える環境を築いてお互い助け合える共助という考えで取り組んでいる。また、向日町警察署とも色々な啓発活動等で協力させていただいている。引き続き、顔の見える関係で協力していきたい。

【委員】 先日、「物集女交番の者です。」と言って電話があった。内容は、「お二人でお暮らしですか。お変わりございませんか。」等との質問であった。何を信じていいのかわからない時代であり、交番ではこのように個別に電話をするのか。また、この取組はどれだけ周知されているのか。

【警察】 向日町警察署管内には11交番があり、複数の交番には交番相談員が勤務している。交番相談員の業務の中に「いたわりテレフォン」という活動があり、高齢者に対して防犯指導や特殊詐欺被害防止、その他交通事故防止などを重点として電話をかけている。不安に思われぬように改めてしっかりと身分を伝えることを徹底する。

【委員】 不審な電話は携帯電話からかかってくることが多く、先日は、「靴の片方でもいいので不要な物はございませんか。」と電話があった。これも詐欺なのか。

【警察】 矢継ぎ早に次々と言葉巧みに話を進め、消費者に考える時間を与えず物を買取り、契約をさせる手口はあるが、それが詐欺に該当するとは一概には言えない。「特定商取引に関する法律」というのがあり、訪問販売等における勧誘行為の規制や契約をしてしまった場合でも、これを解除できるクーリング・オフ制度等がある。

会 議
内 容

【委員】 民生委員や老人福祉員と協力して高齢者宅にチラシやパンフレットを配布に行くと、65歳、70歳はまだまだ元気な方が多く、「わざわざ来なくてもいいですよ。」と言われる。警察として、老人会等のコミュニティのあるところに対する働き掛けはどのようにしているのか。

【警察】 警察は、詐欺の被害防止だけではなく、交通事故防止等あらゆる面で老人会をはじめ各種団体と連携し、様々な施策を行っている。家庭訪問も一つの手段ではあるが、なかなか伝わりにくいこともあるので複数回訪問を行っている。どのように何をすれば効果が上がるのかなど常に検討し、二重、三重の施策を行っている。

【委員】 被害者に占める高齢者の割合の説明にある高齢者は、正に私が該当する。私自身まだまだ高齢者とは考えたことはないが、真摯に受け止め被害に遭わないようにしたい。また、色々な場所で人に話をする機会があり、そういった場所で話をして周知していく。

【委員】 コロナ禍で収入が無くなった大学生が特殊詐欺の受け子をしている話を聞くが、京都府警で検挙した者の低年齢化や学生が多くなった等ということはないのか。

【警察】 コロナ禍の影響かどうかは一概には言えないが、収入が無く、お金を借りることもできない人が、何か無いかと探して辿り着くのが受け子のバイトであったというパターンが散見される。受け子は、学生が多いという印象である。

【委員】 高校生が受け子としてスーツを着て話している状況には、違和感を感じ、信じられないが、最近の高校生は茶髪の子が多く、そのような子にもお金を渡して被害に遭うのか。

【警察】 受け子にマニュアルがあり、それに従って、頭髪は黒く染め直している。

【委員】 警察を名乗る場合があるとのことだが、制服で訪問するのか、私服で訪問するのか。

【警察】 生活安全課や刑事課を名乗り、私服で訪問する手口が多く、偽造した警察手帳を見せたりする。

【委員】 詐欺グループは、「だまされた振り作戦」を逆手に取りアプローチすると聞いたことがある。どのような手口なのか。

【警察】 詐欺グループが警察を名乗り「だまされた振り作戦」を依頼し、言葉巧みに最終的には現金やキャッシュカードを詐取する手口であるが、これも色々なパターンがあり一概には言えない。警察は、現金やキャッシュカードを要求することがないので、絶対に渡さないことである。

【委員】 交番の警察官が家庭を個別に訪問され、家族のこと等を聞いてこられるが、地域のことなどを把握する上で大切であると思う。担当警察

官の顔を見て、お互いが把握できることはよい活動だと感じた。

【委員】娘から「友人から儲かるバイトがあるとの誘いを受けた。」という話を聞き心配したことがある。若い子は、何でもスマートフォンで済ませてしまうため、騙されても警察が把握出来ないことが多いのではないか。特殊詐欺の被害者は高齢者が多いという話であったが、若い子が被害者となるケースはあるのか。

【警察】少年が被害者にならないように、少年係やスクールサポーターが学校に赴き、少年非行の実態や現状について話を行い、非行防止教室等をしている。心配があれば遠慮なく相談や話をしていただければしっかりと対応する。

【委員】特殊詐欺については、色々な手口があることや被害に遭わないために色々な施策を講じられていることを理解した。被害に遭わないために、常にアンテナを張り情報を入手し、変だと思ふことは警察に相談することが大切であると私なりに感じた。

【委員】防犯機能付き電話機を実際に見せていただき、その上で説明を受け、特殊詐欺や迷惑電話の対策に効果があることが分かった。

会 議
内 容

【委員】諮問事項とは少し話は異なるが、私が居住する伏見区では、京都市が主体となる会議等は伏見区役所での開催が多く、伏見警察署から警察官が来られる。私の住んでいる地域は、向日町警察署管内であるが、チラシには伏見警察署の電話番号が書かれていた。伏見区内の住民は、向日町警察署管内と伏見警察署管内に分かれており、子ども見守り活動の講習会開催の案内でもそれぞれ管轄居住者の受講場所が異なっていた。私は利便性を考え、事前に交番に行き、伏見警察署管内居住者の講習場所での受講について変更を依頼した。しかし、当日講習会場に行っても名前が無いことがあった。案内状には京都府警地域部地域課業務指導第二係と書かれていた。交番や警察本部との周知や連携はあるのか。

【警察】当然、交番からの報告は上がってきている。個別案件として確認する。

2 次回開催予定

コロナ情勢もあり流動的であるが、次回の会議は来年2月中旬に予定している。皆さんの御都合を伺い、決定次第連絡するので、よろしく願います。

以 上

第2回 京都府向日町警察署協議会の開催状況

